

第4回エコラーニングツアー

海から考える、環境のこと。ビーチクリーン体験

【開催日】

2026年1月17日(土)

【会場】

三国サンセットビーチ (坂井市三国町宿3丁目12-14)

雄島コミュニティセンター(坂井市三国町宿2丁目3-45)



ビーチクリーン体験

ビーチクリーンを通して、冬の日本海に漂着するごみの多さを実感しました。一見するときれいに見える海岸であっても、実際には、生活ごみだけでなく、海外からの漂着物も無数に存在していました。「このごみも外国語で書かれている！」という声が聞かれるなど、参加者は地元の海が世界の環境問題とつながっていることを実感していました。回収したごみ袋の重さ、細かく砕けたごみを一つひとつ拾い集める大変さを体験したことは、参加者にとって環境への負荷を認識する機会となりました。



カーボンニュートラルカードゲーム【協力事業者：エコネットさばえ】

カードゲームでは、参加者が企業や自治体などの立場になり、経済成長と環境対策のどちらを優先するかを考えながら、さまざまな事業や取組みを行いました。それぞれの事業や取組みによって、市民生活や経済に良い影響が生まれたり、逆に気候変動などの環境問題が深刻化したりしました。一部の業種だけが環境問題に取り組んでも課題は解決されず、社会全体が意識を共有し、綿密なコミュニケーションを図りながら協力して行動することで、初めて環境問題の改善につながることを学びました。



【参加者の感想】

- ・ごみ拾いではごみが細かすぎて取りきれないものもありました。実際にこのような活動をしなないと分からないことがたくさん味わえて、貴重な体験になりました。
- ・ビーチクリーンでは、海外から漂着したごみの多さに驚かされましたが、活動を通して海岸がきれいになり、とても嬉しく感じました。今後もビーチの美しさを保つためには、カーボンニュートラルカードゲームで学んだように、日本だけでなく、世界全体が同じ目標に向かって取り組んでいく必要があると実感しました。
- ・カードゲームを通して、組織と市民が協力することの重要性を実感しました。どちらか一方だけが積極的に取り組んでも効果は限定的であり、双方が連携して行動することで初めて大きな成果につながるということがよく分かりました。
- ・経済成長と温室効果ガスの排出には密接な関係があることを、今回初めて知りました。産業革命以降、国の経済が成長するほど、工場・運輸・発電などの活動が拡大し、それに伴って温室効果ガスが増加する構造が続いてきたそうです。そのため、経済成長を右肩上がりに保ちながら、温室効果ガスを右肩下がりに減らしていくことは非常に難しいと感じました。